

## 原料費調整制度に基づくガス料金単価の調整 (平成 21 年 1～3 月検針分)

平成 20 年 10 月 30 日

宮崎ガス株式会社

本日、平成 20 年 7～9 月の LNG 等輸入価格（貿易統計値）が発表されました。

当社は、「原料費調整制度」に基づき、原料価格の変動が基準平均原料価格の 5% を超えたため、基準単位料金（平成 20 年 11 月改定）に対する調整を行うこととなりました。

これにより、平成 21 年 1 月～3 月検針分の従量料金単価は、平成 20 年 11 月～12 月に比べ 1 m<sup>3</sup>（46.04655MJ）当たり 10.81 円（消費税込み）、モデル家庭のガス料金は、1 ヶ月あたり 324 円（消費税込み）の値上げとなります。

平成 21 年 1～3 月検針分に適用するガス料金は、12 月の検針票であらかじめお客様にお知らせいたします。

### (1) 平均原料価格（10 円未満の端数は、四捨五入）

	平成 20 年 10～12 月	平成 21 年 1～3 月	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格 (貿易統計値)	62,860 円 / t	74,700 円 / t	
液化プロパン平均輸入価格 (貿易統計値)	87,900 円 / t	98,890 円 / t	
液化ブタン平均輸入価格 (貿易統計値)	89,920 円 / t	103,740 円 / t	
平均原料価格 (LNG 換算)	63,700 円 / t	75,400 円 / t	63,700 円 / t

※平均原料価格 = LNG 平均輸入価格 × 0.9251 + プロパン平均価格 × 0.043 + ブタン平均価格 × 0.0197

### (2) 原料価格変動額（100 円未満の端数は切り捨て）

$$75,400 \text{ 円 / t} - 63,700 \text{ 円 / t} = +11,700 \text{ 円 / t}$$

### (3) 調整額

平均原料価格が、基準平均原料価格に対して 5%（3,190 円）を超えているので、従量料金単価を調整します。

$$1 \text{ m}^3 \text{ 当たり} \quad +10.81 \text{ 円} \quad (\text{消費税込み}) \quad \text{消費税率}$$

$$(\text{算式}) \quad 0.088 \text{ 円} \quad (100 \text{ 円あたり調整額}) \times (+11,700 \text{ 円} / 100 \text{ 円}) \times (1 + 0.05)$$

(計算結果の小数点第 3 位以下の端数は切り捨て)

(4) 従量料金単価(消費税込み)

\* (算式) 基準単位料金(消費税込み) + 調整額(消費税込み)

13A	基準単位料金	11~12月検針分 (a)	1~3月検針分 (b)	影響額 (b-a)
料金表 A (0~16m <sup>3</sup> )	257.66 円	257.66 円	268.47 円	+10.81 円
料金表 B (17~81m <sup>3</sup> )	214.88 円	214.88 円	225.69 円	
料金表 C (82m <sup>3</sup> 以上)	198.12 円	198.12 円	208.93 円	
調整額			10.81 円	

(5) ガス料金への影響 (モデル家庭の1ヶ月ご使用例、消費税込み)

1ヶ月のご使用量	11~12月検針分 (a)	1~3月検針分 (b)	影響額 (b-a)
30m <sup>3</sup>	7,849 円	8,173 円	+324 円

○ モデル家庭の料金の計算方法

ガス料金 = 基本料金 (1,402.80 円) + 従量料金 (225.69 円) × 30m<sup>3</sup>

※ 1 円未満の端数は切り捨て

(6) ガス料金の計算式

ガス料金 = 基本料金 (消費税込み) + 従量料金単価 (消費税込み) × 使用量

※ 1 円未満の端数は切り捨て

ガ ス 料 金 表 (消費税込み)

平成 21 年 1~3 月検針分

	料金表 A	料金表 B	料金表 C
月間使用量	0~16m <sup>3</sup>	17~81m <sup>3</sup>	82m <sup>3</sup> 以上
基本料金 (円/月)	718.20 円	1,402.80 円	2,760.45 円
従量料金 (円/月)	268.47 円	225.69 円	208.93 円